

令和7年度

御所小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

自分の思いや考えを主体的に表現し合うことのできる
児童の育成を目指した指導の充実

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員
橋本 健太	校長:大坂 喜昭 教頭:久次米 昌敏 研修主任:橋本 健太 学力向上推進部:盛岡 舞子 牛田 千暁 佃 菜々子 渡辺 早紀

校長

大坂 喜昭

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を設け、取組み状況の把握を行う。

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字や計算など、基礎的・基本的な問題に対しては前向きに課題に取り組むことができている。 ○継続的な作文指導により、長めの文章でも抵抗感なく書くことができ始めている。 ○読書カードを活用し、積極的に読書に取り組む児童の割合が増えてきた。 ●学力や語彙力に個人差があり、問いと解答が合致しなかったり、会話や表現が単調なものになったりする児童が一定数いる。	①基礎的・基本的な知識・技能について、学年相応の力を身に付けている。 ②語彙を増やすとともに、進んで自分の思いや考えを書いたり、話したりすることができる。	①小テストや前単元の復習を行う機会を確保し、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。 ②授業の中で、語彙を増やす工夫を取り入れるとともに、話形や話し合いの仕方を提示し、児童が安心して表現することのできる支援を行う。			

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○絵や図、記号や言葉など、表現方法を工夫することで、自分の考えを進んで伝えようとする児童の割合が増えてきている。 ●既習事項や生活経験を学習内容と結び付けることが難しく、理由や根拠をもって自分の考えを伝えることのできる児童は多くない。 ●主語と述語の関係、接続詞や段落のつけ方、句読点の位置など、文章を組み立てるためのスキルが十分に身に付いていない児童が多い。	①既習事項や生活経験をもとに、理由や根拠を明らかにして、自分の思いや考えを書いたり、話したりすることができる。 ②主語と述語の関係、接続詞や段落のつけ方、句読点の位置など、文章を適切に書くスキルを身に付けている。	①ホワイトボードやタブレット等を活用し、表現方法を児童が選択できる工夫を行ったり、既習学習や生活経験の中で思考を促すヒントとなる情報を準備したりする。 ②各学年の実態に合わせて作文指導に継続して取り組み、文章を適切に書くスキルを定着させていく。			

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○興味・関心が高い学習内容に対しては、主体的に学習に取り組んだり、進んで発表をしたりすることができている。 ●自ら課題を見つけて探究したり、他者との学び合いを通して、自らの学びを深めたりしようとする姿勢が低いと感じる。 ●スマホやタブレット、ゲームを使用している時間が長い児童の割合が増加し、家庭での学習環境を整える必要がある。	①他者の考えに対して質問したり、自分の考えと比較したりして、自他の学びを深めながら、学習に取り組むことができる。 ②メディアの使用時間を少しでも減らすとともに、メディアコントロールの意義を理解している。	①児童の興味・関心を引き出す授業づくりを行うとともに、他者の考えに対して質問したり、自他の考えを比較したりする時間を十分に確保する。 ②メディアコントロールデーを活用し、メディアの使用時間を少しでも減らす呼びかけを行うとともに、メディアコントロールの意義指導を継続的に行う。			

令和7年度 学力向上ロードマップ

